

放射線診断科 医学科案内ツアー：

一般の方は、「放射線診断医」という医者のご存じないことと思います。放射線技師さんはX線写真、CT（コンピュータ断層画像）、MRI（磁気共鳴画像）、超音波検査（エコー）、核医学検査（PETを含む）など、病気の診断のための画像を撮影しています。放射線診断医は放射線技師や看護師との協力の下でこれらの画像検査を正しく安全に行い、画像による正確な診断を行う医師です。

主治医がCTやMRIなどの画像検査の結果を患者さんにお伝えする時には、放射線診断医の診断結果をもとにして説明をしているのです。放射線診断医が直接一般の方に会う機会は少ないですが、皆さんが受ける医療の質を陰から支えています。

また、放射線診断医はこれらの画像技術を駆使して、IVR（アイ・ヴィ・アール：インターベンショナル・ラジオロジー（Interventional Radiology）の略）と呼ばれる新しい治療分野を担当しています。エックス線透視や超音波像、CTを見ながら体内に細い管（カテーテル）や針を入れて病気を治す新しい治療法です。IVRは身体への負担が少なく、とても小さな傷口から病気の場所だけを正確に治療でき、入院期間も短縮できるなど優れた特徴を持っています。

オープンキャンパスでは、3次元的画像観察を用いた画像診断の実際、超音波診断体験、模型を用いたIVRの体験（カテーテル治療と癌の焼灼治療体験）を行います。

